

【表紙】
【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】 近畿財務局長
【提出日】 平成21年8月3日
【事業年度】 第64期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）
【会社名】 株式会社三ツ星
【英訳名】 MITSUBOSHI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 塚本 聡一郎
【本店の所在の場所】 大阪市天王寺区上本町五丁目3番16号
【電話番号】 06(6762)6939
【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 塚本 一男
【最寄りの連絡場所】 大阪市天王寺区上本町五丁目3番16号
【電話番号】 06(6762)6939
【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 塚本 一男
【縦覧に供する場所】 株式会社ジャスダック証券取引所
（東京都中央区日本橋茅場町1丁目5番8号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年6月29日に提出いたしました第64期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）有価証券報告書の記載事項に一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第4 提出会社の状況

3 配当政策

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付しております。

第一部【企業情報】

第4【提出会社の状況】

3【配当政策】

（訂正前）

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題としており、財務体質及び経営基盤の強化を図り、合わせて将来の事業展開を勘案し、適正な内部留保との調和を図り、安定的な利益配当を継続し、連結業績を考慮しながら実施することを基本方針としております。

しかしながら、当期の利益配当につきましては、大幅な当期純損失を計上する結果となったことから、現在の厳しい経済情勢を踏まえ、誠に遺憾ながら、無配とさせていただきます。

また、次期の配当につきましても、事業環境の見通しが相当に厳しい上に未だ不透明であるため、現段階では無配とさせていただきますが、業績の回復と復配に向けて今後も最大限の努力をしております。

内部留保資金につきましては、今後予想される経営変化に迅速に対応できるよう、財務体質及び経営基盤の強化を図り、事業の拡大のため有効な投資を行いたいと考えております。

当社は、会社法第454条第5項に規定する中間配当ができる旨を定款に定めております。

（訂正後）

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題としており、財務体質及び経営基盤の強化を図り、合わせて将来の事業展開を勘案し、適正な内部留保との調和を図り、安定的な利益配当を継続し、連結業績を考慮しながら実施することを基本方針としております。

毎事業年度における配当の回数についての基本方針は、年1回の期末配当を行うこととし、剰余金の配当の決定機関を株主総会としております。

しかしながら、当期の利益配当につきましては、大幅な当期純損失を計上する結果となったことから、現在の厳しい経済情勢を踏まえ、誠に遺憾ながら、無配とさせていただきます。

また、次期の配当につきましても、事業環境の見通しが相当に厳しい上に未だ不透明であるため、現段階では無配とさせていただきますが、業績の回復と復配に向けて今後も最大限の努力をしております。

内部留保資金につきましては、今後予想される経営変化に迅速に対応できるよう、財務体質及び経営基盤の強化を図り、事業の拡大のため有効な投資を行いたいと考えております。

当社は、会社法第454条第5項に規定する中間配当ができる旨を定款に定めております。